

緑化センター みにがいど No.23

紅葉が美しいベニマンサク

大野町のまんさく湖畔のベニマンサクはその紅葉の美しさで定評です。

ベニマンサクは、山野に黄色の花を咲かせて春の訪れ告げるマンサクと同じマンサク科の植物で、マルバノキとも呼ばれます。マンサクは早春に黄色の花をつけますが、ベニマンサクは秋に暗紫色の花をつけ、葉の形状も違い、また、生育地も限定されています。

緑化センターにはレストハウスの東側や学習展示館の東側など、あちこちに植えてあり、一枚の葉でも微妙に色に変化する紅葉をお楽しみください。



03. 11. 1

ベニマンサク マンサク科

ベニマンサクは、その自然に生育する地域が、本州(中部南西部と、滋賀、広島県の一部)、四国(高知)と、飛び飛びにある不思議な植物。

中国大陸中部に本種の変種がある。

落葉低木で、丸い心臓形の葉は秋美しく紅葉し、同じころ星型をした暗紫色の花が咲く。

学習展示館の東側では、今(11月上旬)花が見られる。

大野町渡ノ瀬ダム付近から佐伯町友田にかけての山地の谷筋や湖畔に成育している。

広島県レッドデータブックの希少種

一部地域では県天然記念物に指定。

参考 広島県文化百選7 花と木編 中国新聞社
広島県の絶滅のおそれのある野生生物 広島県編

コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス